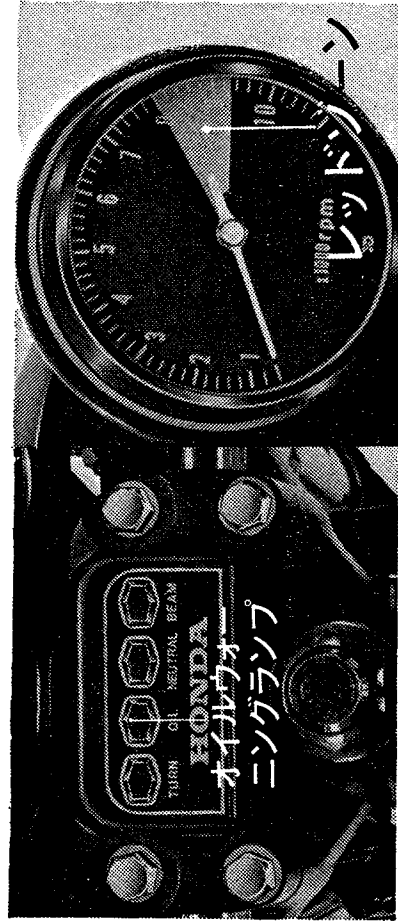


## ドライブテクニク

- 油圧ウォーニングランプが消えてから発進しましょう。
- 発進はできるだけ静かに行ないましょう。
- エンジン回転はタコメーターのレッドゾーンを限度にしましょう。
- 走行中は異音に注意し、異常を認めたときはただちに調べましょう。
- 不必要な急ブレーキは避けましょう。
- **オイルウォーニングランプについて**
- ウォーニングランプはメインスイッチを“ON”にするとき、エンジンを始動すると同時に消えるのが正常です。



- 走行中にランプが灯くのは、潤滑系統の異常です。エンジンを止めオイル量をチェックしてください。灯いたまゝの運転はさけてください。
- 油温が非常に高くなるとアイドリング(約900～1,000rpm)で断続的に灯くときがあります。問題はありませぬ。しかし長時間(30分以上)のアイドリング運転はさけてください。
- オイルは10W-30#または、10W-40#を必ず使用してください。
- **20#では油圧が低下します。**
- タコメーターのレッドゾーンは、限界回転数を示したものです。これを越えるとエンジンの寿命にいちじるしく影響します。特に1.2速で急加速をする場合は、回転計で6,500以上は上げないように心掛けて下さい。回転計指針には防振の為に油性を利用した減衰装置が設けてあります。急激に回転を上げると実回転に対し指針の指示遅れがあるからです。